

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号： 23-1-039

補助事業名： 平成23年度 国際交流の推進 補助事業

補助事業者名： 社団法人 研究産業・産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界の国々との産業技術交流、世界的課題に対する人材の国際ネットワーク構築を推進することで産業技術の国際交流を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 発展途上国への BOP 技術ミッションの派遣

外務省やジェトロなどの公開情報を分析するとともに、マレーシアの日本大使館や現地関係者などから情報を入手し、食品加工、水処理、再生可能エネルギー分野を中心に現地の産業、政策、社会課題、ニーズ等についての情報の収集/分析を行い、更にマレーシア工業開発庁の講演、オブザーバ参加の JETRO、NEDO の協力も仰ぎ、訪問地域並びに企業の選定と調整を行った。

11月5日～11月12日にマレーシアへの技術ミッションを派遣。コタキナバル～クアラルンプールの2都市を訪問した。帰国後の11/29に第3回 BOP 技術ミッション検討委員会を開催し現地訪問纏め、1月24日に第4回 BOP 技術ミッション検討委員会を開催し最終報告書まとめを行った。



② 研究開発マネジメント国際交流会の開催

東日本大震災後のエネルギー安定供給問題、欧州の経済危機に端を発する円高など急速に変化する国際環境の中、研究開発においても海外展開の動きが見られ、アジアへの事業展開の際の、研究開発マネジメントのあり方や、人材育成確保等の課題を訪問時の統一調査項目として、欧州のエアリキッド社、トタル社などを訪問し、また欧州の研究開発マネジメントに関する機関である EIRMA との会議に参加して調査を実施、また連携に関する討議を行ない、今後の連携に関する MOU を締結した。

11月7日～11月13日に、米国の研究開発マネジメントに関する機関であるIRI、研究実施機関であるPARC社およびSEAGATE社への訪問調査を実施した。

「グローバル時代の研究開発の国際分業および連携」をテーマとして、検討委員会委員長、経産省、シンガポール科学技術研究所、フラウンホーファ研究機構、日本IBM、東レリサーチセンター、NEDOからの講演し、講演者と聴講者の以下交流会を実施した。

月 日：平成24年2月10日

場 所：中央大学 駿河台記念館

テーマ：「グローバル時代の研究開発の国際分業と連携」

開催講演 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 近藤 正幸 氏

基調講演 「研究開発の国際化について」

経済産業省 産業技術環境局 国際室長 上田 洋二 氏

講演1 「Singapore' s Economic Mission: Policies and Approach in Science & Technology」

シンガポール科学技術研究所 Executive Director

Dr. Raj Thampuran

講演2 「Fraunhofer and its International Activities」

フラウンホーファ研究機構 日本代表部 Representative

Dr. Lorenz Granrath

講演3 「IBMのグローバルに活躍の場を拓げる研究開発」

日本IBM Manager of Technical Vitality, Technology & Operations 辻 智 氏

講演4 「東レの中国における研究開発」

東レリサーチセンター 代表取締役社長 佐藤 卓治 氏

講演5 「NEDOにおける研究開発の取り組みと国際展開」

NEDO 国際部長 山田 安秀 氏



2 予想される事業実施効果

①発展途上国へのBOP技術ミッションの派遣

発展途上国へのミッション派遣により、日本国内での調査では手に入らない情報、商流、人的資産を入手することが出来た。これにより、今後のBOP層へのアプローチの足がかりとなると共に、中小企業のグローバル化、国際進出、ひいては国際交流の発展に繋がる。

②研究開発マネジメント国際交流会の開催

交流会は、相互のネットワークの場を提供することができ、研究開発マネジメントを担当されている方々への刺激にもなり、各企業において研究開発の国際分業と連携を検討する際の参考となる。

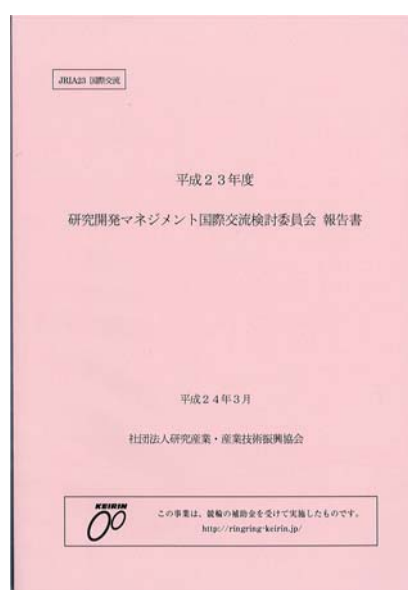
今後は、東日本大震災への対応も含め、単独の企業や業種では対応が難しい社会システムなどの領域では、研究開発の分業や協業に関するテーマについて、さらに議論、交流を深めていく必要があり、その際の考え方の参考となる。

また、欧州の研究開発マネジメント機関EIRMAとの交流により、両機関で連携のための具体的な方針を定めたMOUを締結したことにより、今後国際分業と協業に向けての交流の場として、活用できる機会が増える。

3 本事業により作成した印刷物

[平成23年度国際交流の推進事業 BOP技術ミッション報告書](#)

[平成23年度国際交流の推進事業 研究開発マネジメント国際交流報告書](#)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 研究産業・産業技術振興協会(ケンキュウサンギョウ・サンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住所： 113-0033

東京都文京区本郷 3-23-1 クロセビア本郷 2F

代 表 者 : 会 長 伊 藤 源 嗣 (イ ト ウ モ ト ツ グ)
担 当 部 署 : 企 画 交 流 部 (キ カ ク コ ウ リ ュ ウ ブ)
担 当 者 名 : 部 長 小 林 一 雄 (コ バ ヤ シ カ ズ オ)
電 話 番 号 : 03-3868-0826
F A X : 03-5684-6340
E-mail : jria1@jria.or.jp
URL : <http://www.jria.or.jp>